

追悼特集

亡くなった作家や著名人を偲んで、作品を紹介します。
* () は命日

藤原てい (2016年11/15)
作家。故新田次郎の妻。著書に『流れる星は生きている』『旅路』『絆』『折々の葉』など。

三浦朱門 (2/3)
小説家、第7代文化庁長官。「箱庭」で新潮文学賞受賞。他の著書に『老年の品格』『老年の流儀』など。妻・曾野綾子との共著も多数。

大岡信 (4/5)
詩人、評論家。著書に『折々のうた』『ことのは草』『みち草』など。『日本うたことば表現辞典』(全15巻)の監修を手がける。

林えいだい (9/1)
ノンフィクション作家。著書に『私たちの風船爆弾』『証言・樺太(サハリン)朝鮮人虐殺事件』など。

渡辺和子 (2016年12/30)
教育者、ノートルダム清心学園理事長。著書に『置かれた場所で咲きなさい』『面倒だから、しよう』など。

佐藤さとる (2/9)
児童文学作家。『だれも知らない小さな国』で毎日出版文化賞受賞。他に『天狗童子』『わんぱく天国』など。

杉本苑子 (5/31)
小説家。「孤愁の岸」で直木賞受賞。他の著書に『鳥影の関』『散華』『山河寂寥』など。

犬養道子 (7/24)
評論家。「犬養基金」の創設など、アジア・アフリカ・ヨーロッパの難民救済のために活動。著書に『人間の大地』『聖書を旅する』『未来からの過去』など。

林京子 (2/19)
小説家。「祭りの場」で芥川賞、群像新人賞受賞。他に『ギヤマンビードロ』『三界の家』『希望』など。

日野原重明 (7/18)
医師。聖路加国際病院名誉院長。著書に『生きかた上手』『いのちの器』『戦争といのちと聖路加病院ものがたり』『生きていくあなたへ』など、多数。翻訳書もあり。

他にも… まついのりこ (2/12)、ディック・ブルーナ (2/16)、ポーラ・フォックス (3/1)、儀間比呂志 (4/11)、佐々木正美 (6/28)、子安美知子 (7/2)



職員のおすすめ《この書き手に注目！》

内田 洋子

(うちだ ようこ 1959年神戸市生まれ)
東京外国語大学イタリア語学科卒業。イタリア在住。イタリア新聞社勤務を経て、通信社ウーノ・アソシエイツを起業、代表を務める。2011年に『ジノの家』(文芸春秋)で日本エッセイスト・クラブ賞、講談社エッセイ賞を受賞。『カテリーナの旅支度』(集英社)『パパの電話を待ちながら』(ジャンニ・ロダーリ/著、内田洋子/訳 講談社)など、イタリア関係の著書を数多く出版。

内田さんの作品は、ジャーナリストらしく、感情を抑えた表現ですが、使う言葉を丁寧に吟味し、その時に感じたこと、その場面が目の前に浮かんでくるようです。数ある中でも私のお勧めは『皿の中に、イタリア』(講談社、2014年出版)。

綴られた文章から、オリーブ、トマト、チーズの香りと、揚げたての鯛から口内にこぼれる旨味まで感じられ、思わずお腹が鳴ってしまいました。食の背後にイタリアの人々の日常も垣間見え、彼らを見つめる優しいまなざしに、内田さんが育んできた絆の深さを感じます。本を開いて、イタリア旅行気分浸ってみてはいかがでしょうか？

(帷子分館 福井)

川本 三郎

(かわもと さぶろう 1944年東京生まれ)
文学、映画、漫画、旅などを中心とした評論やエッセイなど幅広い執筆活動で知られる。『大正幻影』(新潮社)でサントリー学芸賞を受賞。

『「男はつらいよ」を旅する』(新潮社)をご紹介します。映画「男はつらいよ」の主人公・フーテンの寅の旅した跡を追って各地を訪ね歩いた紀行文です。

「男はつらいよ」が48作も作られ、今なお人気があるのは、寅さんの魅力もさることながら、渡世人家業の仕事柄、放浪の旅に出る“旅”の映画であるところが大きいと筆者は考え、「男はつらいよ」のロケ地を辿ります。どこへ行っても寅さんの名前を出せば、歓迎され、ロケ地になったことを誇りに思っている人々がいます。

漁師町、湯の町、城下町。どこも小さな田舎ですが人々の暮らしがあり、いずれは消えてしまうかもしれない日本の風景に、人は心惹かれるのでしょうか。

寅だけではなく、兄想いのさくらも5回程、旅に出ています。さくらが、寅が自殺をするのではと心配になり、荒涼とした冬の日本海に沿って、秋田県能代と青森県五所川原を走る五能線に乗ります。寒いのが苦手な私も一度は乗ってみたいと思わせる大好きなシーンです。

(桜ヶ丘分館 松浦)

分類	書名	著者名	出版者名
歴史 伝記 地理			
210.0/ヤ/	元号 元号を追えば日本の歴史が見えてくる。大化から平成に至るすべての元号について、改元年月日、元号の出典、改元理由、元号使用期間、その時代の在位天皇などの基礎データに加え、その時代に起きた主なできごとを解説する。	山本博文／編著	悟空出版
234.0/レ/	これが人間か 飢えと寒さ、不潔な寝床、病い、死にゆく人々…。ナチスのユダヤ人強制収容所から生還した著者が人間の極限状態を克明に描いた名著「アウシュヴィッツは終わらない」の改訂完全版。	ブリーモ・レーヴィ／著	朝日新聞出版
288.3/ヨ/	中世美濃遠山氏とその一族 濃東端の恵那郡を支配した遠山氏とその一族の歴史を、通史的にとらえるだけではなく、菩提寺大円寺(臨済宗)の盛衰を通して禅宗史の面からも考察する。遠山氏から分かれた苗木氏などの歴史も併せて記述。	横山住雄／著	岩田書院
292.1/シ/	北朝鮮を撮ってきた! 偽物と小芝居あふれる10日間。私は「素顔」の彼らを追いかけて。世界中を旅してきたアメリカ人女性が、2014年にたった1人で朝鮮民主主義人民共和国へ観光に訪れ、滞在中に見聞きした出来事を綴った旅行記。	ウェンディ・E.シモンズ／著	原書房
社会			
313.6/ウ/	街場の天皇論 立憲デモクラシーとの共生を考える、内田流天皇論。「私が天皇主義者になったわけ」「大衆」の変遷「忠臣蔵のドラマツルギー」など、天皇論について書き溜めたものをまとめる。書き下ろし論考も掲載。	内田樹／著	東洋経済新報社
332.1/シ/	東京五輪後の日本経済 不動産価格はどうなる? 円は大暴落するのか? ハイパーインフレは起こるのか? 元日銀政策委員会審議委員として日本経済の表も裏も知り尽くした著者が、2020年東京五輪後の日本経済のゆくえを語る。	白井さゆり／著	小学館
334.4/ミ/	だから、居場所が欲しかった。 遠く離れたバンコクの高層ビルで、一斉に電話を受ける日本人たちがいる。非正規労働者、借金苦、風俗にハマる女、LGBTの男女。生きづらい日本を離れ、行き着いた先は…。	水谷竹秀／著	集英社
自然科学・医学			
404/イ/	美しい科学の世界 万年筆用の赤インクを蒸発させて顕微鏡で覗くと…。蚊取り線香の煙を一眼レフカメラで撮影すると…。身近なものを拡大したり、暗い光を写したり、瞬間的な形や、時間をかけて変化する形をとらえたビジュアル科学図鑑。	伊知地国夫／写真・文	東京堂出版
467.2/ダ/	CRISPR 究極の遺伝子編集技術の発見 ヒトラーが押し進めた優生学の復権か? 遺伝病に苦しむ人たちへの福音か? ヒトゲノムを構成する32億文字のなかから、たった一文字の誤りを探し出し修正するという技術を生んだ女性科学者の手記。	ジェニファー・ダウドナ／著	文藝春秋
481.1/サ/	たいへんな生きもの えさにされては生きてけず、えさがなくても生きてけず。生きものたちの〈問題〉を取り上げ、その〈解決策〉をリアルなイラストと共に解説。進化の不思議がぐんぐんわかる、サイエンスライターならではの深いうんちくが満載。	マット・サイモン／著	インターシフト
技術、家政			
537/モ/	これから始まる自動運転社会はどうなる!? 乗り手の目線で、自動運転や無人運転がもたらす社会の変化を具体的に紹介した書。自動運転を実現する技術、事故時の責任は人か機械か、自動運転ビジネスの広がりなど、来るべき自動運転社会を考えるヒントが満載。	森口将之／著	秀和システム
559.5/イ/	最新ミサイルがよ〜くわかる本 ICBMの射程距離は? ロフテッド軌道とは? ミサイルの種類、ミサイル・システムを構成する要素、実際に使われる場面などについて、図版や現物の写真を多用し平易に解説する。	井上孝司／著	秀和システム

産業

- 619.3/オ/ **小麦粉の科学** 大楠秀樹／著 日刊工業新聞社
食品としての消費量も多く、多様な食べ方が可能なオールラウンドプレイヤー、小麦粉。粗い小麦粉と細かい小麦粉の違い、イタリアのパスタ・ピザと小麦粉の関係など、その面白さと不思議さをわかりやすく紹介する。
- 629.3/ス/ **すべての子どもに遊びを** みーんなの公園プロジェクト／編著 萌文社
子どもにとっての遊びの重要性の観点に立ち、多様なニーズを踏まえた質の高いユニバーサルデザインの遊び場づくりのポイントやアイデアを紹介する。すべての子どもが遊べるインクルーシブな公園づくりのヒントが満載。

芸術

- 706.9/ウ/ **ミュージアムの女** 宇佐江みつこ／著 KADOKAWA
美術館の隅っこに座っているあの人はこんなことを考えていた!? 美術館の仕事のエピソードを4コマ漫画で紹介する。岐阜県美術館の公式アカウントにて、SNSを通じて発表したものを書籍化。
- 743.6/シ/ **猫の撮りセツ** 清水奈緒／著 エクスナレッジ
表情を撮る、かたちを撮る、動きを撮る…。広角レンズを使わずに一眼レフカメラで撮影する、飾りたくなる猫の写真のポイントを紹介。配置バランスなどのテクニックも掲載。

言語

- 802/ヨ/ **なくなりそうな世界のことば** 吉岡乾／著 創元社
バスク語、コワール語、サーミ語、アイヌ語…。世界の50の少数言語の中から、各言語の研究者たちが思い思いの視点で選んだ「そのことばらしい」単語に、文と絵を添えて紹介します。
- 811/コ/ **図説日本の文字** 今野真二／著 河出書房新社
国宝のなかの文字、絵画化された経文、貨幣に刻まれた文字、海外で印刷された漢字…。古代から現代まで、漢字・ひらがな・カタカナの書かれ方・使用のされ方をヴィジュアルに紹介する。見返しに図版あり。

日本文学ー小説

- 913.6/アイ/ **手がかりは「平林」** 愛川晶／著 原書房
落語を聞いていた児童たちのたわいない言葉遊びが、お伝さん襲撃事件に意外なかたちでむすびつき…。表題作のほか「カイロウドウケツ」を収録。落語好きからミステリマニアまで楽しめる、本格落語ミステリー第6弾。
- 913.6/アオ/ **踊る星座** 青山七恵／著 中央公論新社
やっかいな顧客、すがってくる家族…ダンス用品会社のセールスレディが、疲労とアクシデントにまみれて疾駆する! 勤労の喜びとうっふんがあふれだす“笑劇”的な小説。
- 913.6/イジ/ **琥珀の夢 上・下** 伊集院静／著 集英社
日本初の国産ウイスキー造りに精魂をかけた鳥井信治郎。明治・大正・昭和を駆け抜けたサントリー創業者と、その「やってみなはれ」の精神を受け継ぐ末裔を描く。
- 913.6/イト/ **西郷の首** 伊東潤／著 KADOKAWA
西南戦争で西郷隆盛の首を発見した陸軍軍人・千田文次郎と、大久保利通を暗殺した島田一郎。異なる道を歩んだ元加賀藩士2人の友情と生き様から「維新」と「武士の世の終わり」を描く。
- 913.6/カド/ **銀河鉄道の父** 門井慶喜／著 講談社
岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。
- 913.6/キン/ **愛のかたち** 岸恵子／著 文藝春秋
化粧品会社の駐在員としてパリで暮らす渚詩子は謎の弁護士と恋に落ちる…。フランス、中東、京都を舞台に、悲痛な運命に抗い、力強く生きる男女を描く愛の物語。全2作品を収録。
- 913.6/コテ/ **星ちりばめたる旗** 小手鞠るい／著 ポプラ社
1916年、アメリカに暮らす幹三郎に嫁いだ佳乃は、やがて時代の激流に呑み込まれ…。時代に翻弄されながらも、ただひたすらに生きる三世代の母と娘たちの姿を描き出す。

913.6/コン/	武士マチムラ	今野敏／著	集英社
	幕末の沖縄を生きた空手家・松茂良興作。明治維新の荒波が沖縄を襲い、琉球王国がヤマトに消滅させられると、興作は反ヤマト派の活動を始めるが…。著者のライフワーク、琉球空手シリーズ。		
913.6/チネ/	崩れる脳を抱きしめて	知念実希人／著	実業之日本社
	神奈川の病院に実習に来た研修医の碓氷は、脳腫瘍を患う女性・ユカリと出会い、心を通わせる。実習を終えた碓氷に、ユカリの死の知らせが届く。彼女はなぜ死んだのか？ 幻だったのか？ そして明かされる衝撃の真実!?		
913.6/ナカ/	酒が仇と思えども	中島要／著	祥伝社
	並木町の酒屋・七福の若旦那のもとには、さまざまな酒にまつわる悩みが持ち込まれる…。凝った心をときほぐす、吞まずに酔える人情時代小説。		
913.6/ナガ	教場 O 刑事指導官・風間公親	長岡弘樹／著	小学館
	「こんな謎も解けないなら、交番勤務からやり直せ」極悪人も新米刑事も震え上がる鬼教官・風間が、殺人現場に臨場!“警察学校”小説。		
913.6/ハハ/	守教 上・下	帚木蓬生／著	新潮社
	百姓たちは、苦しい日々を生き抜くためにキリシタンになった。なにかが変わるかもしれないという、かすかな希望。ときの権力者たちも、祈ることを奨励した。しかし…。戦国期から開国までの、キリシタン通史。		
913.6/ヨシ/	吹上奇譚 第1話	吉本ばなな／著	幻冬舎
	その街では、死者も生き返る。現実を夢で知る「夢見」。そして屍人を自在に動かす「屍人使い」。2つの能力を私は持っている…。吉本ばななが描いた長編哲学ホラー小説。		
913.6/ヨミ/	蘇える鬼平犯科帳	池波正太郎／著	文藝春秋
	「鬼平」誕生から50年。逢坂剛、諸田玲子、土橋章宏、上田秀人、門井慶喜、風野真知雄、梶よう子が、新たに「鬼平」に命を吹き込んだ短編集。		

展 示 の ご 案 内

■ 10/28 (土) ~ 11/23 (木) ■

読書週間特集 科学道100冊展 (本館1階)

日本で唯一の自然科学の総合研究所・理研が主導する、「科学道100冊」フェアの本を展示します。科学者たちの見方・生き方・考え方に触れることのできる良質な本をご紹介します。

■ 11/25 (土) ~ 12/10 (日) ■

可児市人権啓発センター、人づくり課合同人権展 (本館1階)

人権とは自分が自分らしく生きるための権利。誰もが身近にある人権問題についてこの機会に考えてみませんか。

重 要 な お 知 ら せ

【貸出カードの更新について】

図書館の貸出カードの有効期限は3年です。

平成27年(2015年)の時点で登録されていた貸出カードの有効期限は平成30年(2018年)のお誕生日になります。そのため12月から、有効期限が近づいた方にカウンターで更新のお知らせをします。住所・電話番号等の確認を行い更新します。

更新の時には、運転免許証や保険証など、住所の証明できるものをご提示ください。
高校生以下の方は、同伴する保護者の方の証明でも可能です。

開館時間

【本館】平日 10:00~19:00、
土日祝 10:00~17:00

【分館】全日 9:00~17:00

11月3日と23日の祝日は開館します。

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日

11月 6,13,20,24,27日

※桜ヶ丘分館臨時休館 11月5日(日) 桜ヶ丘ハイツ秋まつり開催のため(当日は桜ヶ丘公民館駐車場がまつり会場になるため使用できませんのでご注意ください。)

携帯用
サイト



「図書館だより」2017年11月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574)62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。